

会議録 (1)

会議の名称	第2回 飯能市エコツアーリズム推進協議会
開催日時	平成20年10月24日(金) 開会 午後2時 閉会 午後4時
開催場所	飯能市役所 別館 会議室2
議長氏名	犬井 正
出席委員	小林 毅 内沼正実 市川章弘 島田雅子 栗原慶子 齊藤和重 浅野正敏 小見寺公一 浅見徳男 岡部素明 梶田通子 伊藤淳一 櫻井 茂 横田晴雄
欠席委員	福永 昭 岩渕恒次 中川 淳 大野清治 井上淳治 石田安良 井上七恵 山田直行 虎澤英雄 中村綱秀
説明者の職氏名	エコツアーリズム推進室 室長 安藤泰雄 主査 大野裕司 技師 春原秀樹 (財)日本生態系協会 地域計画室長 城戸基秀
傍聴者の数	0名
会議次第	開会 会長あいさつ 議事 (1) 秋のエコツアーについて (2) 飯能市エコツアーリズム推進全体構想(案)について (3) その他 閉会
配付資料	資料1 H20秋のエコツアー企画・協議シート、チラシ 資料2 飯能市エコツアーリズム推進全体構想の策定に向けた調査検討資料 資料3 飯能市エコツアーリズム推進全体構想策定フロー 資料4 飯能市エコツアーリズム推進全体構想(検討用素案)
事務局職員職氏名	エコツアーリズム推進室 室長 安藤泰雄 主査 大野裕司 技師 春原秀樹 (財)日本生態系協会 地域計画室長 城戸基秀 研究員 加藤雄也 研究員 西川史晃 研究員 望月太樹

会議録 (2)

議事の概要 (経過)・決定事項
平成 20 年 秋のエコツアー企画・協議シート、チラシについて報告がされた。
エコツーリズム推進全体構想の策定に向けた説明がされ、内容について協議した。
オープンカレッジの実施について報告がされた。
第 16 回 全国雑木林会議について報告がされた。
第 4 回 エコツーリズム大賞に応募したことについて報告がされた。

会議録 (3)

発言者	発言内容
推進室長	こんにちは。定刻になりましたので始めます。雨の中、ご出席いただきましてありがとうございます。ただいまより第2回 飯能市エコツーリズム推進協議会を始めます。最初に犬井会長よりご挨拶いただきます。
会長	こんにちは。本日はエコツーリズム推進法に基づいて行われる第2回目の協議会です。飯能市エコツーリズム推進全体構想についてご審議いただきます。また10月17日から19日まで全国雑木林会議が飯能市で行われました。浅野委員をはじめ、多くの方にご尽力いただき、エコツーリズムについて取り上げていただきました。この件については議事3でご報告いただきます。よろしくお願いいたします。
推進室長	第1回 飯能市エコツーリズム推進協議会をご欠席され、本日もご出席された委員をご紹介します。はじめに小林委員よろしくお願いいたします。
委員	私は岐阜県立森林文化アカデミーで環境教育やインタープリターの養成をしています。家は上名栗です。どうぞよろしくお願いいたします。
推進室長	続きまして島田委員お願いします。
委員	前回は欠席してしまいすみません。飯能市農林産物加工直売所で仕事をしています。よろしくお願いいたします
推進室長	続きまして斎藤委員お願いします。
委員	飯能市農業青年会議所の会長を務めております。飯能の環境を考えるには、農業の視点も必要と思います。よろしくお願いいたします。
推進室長	ありがとうございました。それでは犬井会長に議長をお願いしまして、進めていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
議長	今日の議事内容は大きく2つあります。1つは、秋のエコツアーについて、2つ目は飯能市エコツーリズム推進全体構想についてです。では1つ目の説明をお願いします。
推進室技師	(資料1の説明)
議長	ありがとうございました。既に終えているツアーは、全て定員を満たし、実施できましたか。
推進室主査	はい、全て実施できました。定員についてですが「飯能武人を訪ねるたび」が4名、「野草教室 果実酒をつくろう」も4名の申し込みで最少催行人数は5名でしたが、実施しました。その他のツアーは、概ね定員を満たしました。

会議録 (3)

発言者	発言内容
議長	参加者が多いと、活動市民の会や他の実施者が、新規ツアーを始めやすいと思いますのでよろしくをお願いします。これからのツアーの申し込み状況は把握できていますか。
推進室技師	「芋づくしのたび」と「明治時代の女性の暮らしをたずねて」は、既に定員を満たしています。
議長	他のツアーは苦戦しているということはないですか。
推進室技師	参加者募集を開始したばかりで、ツアーの開催も11月ですので、まだ分かりません。
議長	広報を様々な形で行い、参加者を集められるようお願いします。全国雑木林会議でツアーでの安全管理について話があがりました。昆虫による被害、熱中症、落雷等考えられますが、保険の加入、対策等を企画協議シートで指摘できる体制をお願いします。事務局からこの点に関して何かありますか。
推進室主査	全てのツアーで保険の加入をお願いしています。またツアー中の事故に備え、消防署の分署の電話番号を控えていただいています。この2点は、現在、企画協議シートの項目に入っています。今回指摘がありました、緊急連絡先の項目に個人名が書かれていたことについては、この方が医者かどうか等把握できていませんでした。緊急連絡先について事務局で考えていきたいと思います。
議長	安心、安全はツアーの成功の鍵です。検討してください。他はよろしいでしょうか。
委員	何年もエコツアーを行っていただいています、リピーターはどのくらいいらっしゃいますか。
推進室主査	2、3割です。
議長	よろしいでしょうか。では次にいきます。飯能市エコツーリズム全体構想について審議する前に、これまでの成果、課題をご説明いただきたいと思います。
地域計画室室長	(資料2の説明)
議長	ご質問、ご意見ありますか。2ページの「評価と課題」で『「(仮称) エコツーリズムセンター」、「(仮称) エコツーリズム基金」の創設』とありますが、これは以前から検討課題となっています。いつ実現させるか、ロ

会議録 (3)

発言者	発言内容
議長	<p>ードマップをきちんと作らなくては、いつまでも課題のままです。この「評価と課題」は今後どうしていくのか、検討していただきたいと思います。また 15 ページ「②ツアーの種類」で「生活文化」が多いようですが、まず「自然」、「生活文化」、「歴史・伝統文化」という分類ができるかどうかということがあります。地域の文化、伝統は自然を基盤にしています。ですから「生活文化」、「歴史・伝統文化」を対象にしたツアーでも、環境へ配慮しているかどうかを評価する必要があります。企画協議シートで、ツアーの素材をどう環境に活かすのかを議論できるようにすると良いと思います。他にご意見等ございますか。</p>
委員	<p>23 ページに、ツアー参加者へのアンケートについて書いてありますが、アンケートの回答率は、どのくらいでしょうか。</p>
地域計画室室長	<p>ツアーのその場で配布、回収していますので、ほぼ 100%です。</p>
委員	<p>里地里山でのエコツアーを飯能から全国に発信できると良いと思います。飯能は原生自然ではなく、人と自然が関わり合って成り立っている自然です。ここをうまくプログラムできると良いと思います。また東京に近い立地条件も魅力的です。繰り返し通ってもらえるような連続講座等も実施できるかと思います。ツアーを実施している方は、この活動が環境の保全にどのようにプラスになっているのか、少しずつ検討していただくと良いと思います。</p>
議長	<p>30 ページ「課題のまとめ 課題 1 モニタリングやルールの充実」とありますが、規制などのルールよりマナーの充実がエコツアーでは求められていると思います。規制などのルールは最小限にとどめるのが良いと思います。また「自然や文化の保全」とありますがこの「文化の保全」が奇異な言葉に感じます。環境省ではこの言葉を使っていますか。</p>
委員	<p>「文化」は農林水産省、文部科学省が使っています。環境省ではあまり使いません。</p>
議長	<p>この「文化の保全」という言葉を、もう一度検討してみてください。このまとめてもらった資料を基に、エコツーリズム推進全体構想を策定していきます。他にご意見等ございますか。ではここで休憩にします。</p>
(休憩)	
議長	<p>では始めます。後半はエコツーリズム推進全体構想について説明してもらいます。</p>

会議録 (3)

発言者	発言内容
推進室主査	(資料 3、4 の説明)
議長	本日の協議会では資料 3 のはじめにある「(1) エコツーリズムを推進する地域 ①推進の目的及び方針 ②推進する地域」について審議することです。資料 4 でいいますと 8 ページまでです。9 ページから 37 ページは次回以降、検討しますのでそれまでに準備をお願いします。全体構想の項目は、エコツーリズム推進基本方針に示されていますので、それに基づき作っていきます。ご意見等ございますか。では 1 ページから順にいきます。
委員	飯能市は市有林を多く持っていると思います。それをエコツアーに使えませんか。私有林だけでは限られてしまいます。担当の農林課と連携が取れているのかどうかお聞きします。
推進室長	市有林はいろいろな地域にあります。例えば名栗では斜面が非常に急で、エコツアーで使うには難しいと思います。ただ苧生の市有林ではなだらかな斜面もありますので、農林課と連携をとりたいと思います。
議長	次に 2 ページですが、ここでも「文化の保全」という言葉があります。もう一度言葉の検討をお願いします。
地域計画室室長	「文化の保全」は伝統文化を守っていくという意味で使っています。「保護」は手をつけずに守ること、「保全」は管理等、手を加えて守ることです。文化も必要に応じて、人が関わりを持ちながら守っていくという意味で「保全」としています。
委員	私たちの住んでいるところでは獅子舞の文化がありますが、子どもの数が減っています。どのように次の世代に、文化をつなげていくか悩んでいます。言葉として「文化の保全」よりも「文化の継承」の方が分かりやすいと思います。
議長	「自然の保全と文化の継承」のような言葉にするのか、また「文化の保全」という言葉が確立されているのかどうかを含めて、検討してください。
委員	資料 4 の 2 ページ、4 ページに「歴史・伝統文化」、「歴史文化」と同じような言葉が混在しています。
推進室主査	言葉の使い方を検討します。
地域計画室室長	「歴史文化」も「歴史」と「文化」に分けた方が良いですか。

会議録 (3)

発言者	発言内容
委員	はい。「歴史文化」と慣用的に使ってしまっているのかもしれませんが、それぞれ全く概念が違うので分けた方が良いと思います。
議長	後に残る文章ですので、言葉を吟味して使ってください。では 3 ページはよろしいですか。4 ページにいきます。「自然と文化、人のつながりによって発展する活力ある地域」とありますが、「自然」、「文化」、「人のつながり」と分かれているように読めます。
地域計画室室長	以前の言葉では「ネットワーク」を使い、「自然のネットワーク」、「文化のネットワーク」、「人のネットワーク」としていました。しかし、これまでの 4 年間で、これらの言葉は一般の方に理解しづらいと感じ、そのように変更しました。「自然と文化」で 1 つ、「人のつながり」で 1 つです。
議長	「ネットワーク」を「つながり」に変更しただけでなく、内容を変更したということですね。これは事務局はどちらがいいと思っていますか。
地域計画室室長	私は「自然と文化」、「人のつながり」で分ける方が良いと思います。
議長	他の方はいかがでしょうか。では今あった意見を考慮し、再度検討してください。ページ 4 の基本方針 1、2、3 ですが、文章の体裁が下へいくに従い、つぼまっていきます。階層性があるのですか。違うのであれば、特にそういった書き方をしないほうが良いと思います。6 ページの「ポイント 5」に「木の文化」とあります。飯能市で「森林文化都市」という言葉を使っていますが、「森林」ではなく「木」にしたのはなにか意味があるんですか。
地域計画室室長	「森林文化」より先に「木の文化」という言葉を使っていました。
議長	現在の飯能市が使っている「森林文化」に合わせる方が整合性があると思います。他にご意見等ありますか。
委員	先ほどの「ネットワーク」を「つながり」に変更した件ですが、自然のつながりも重要だと思っていますので、小林委員にご意見をいただきたいのと、「ポイント 10」に「宿泊滞在型の観光」とあります。現在、日帰りのツアーが主ですが、宿泊滞在型に転換していくのかどうか確認させてください。

会議録 (3)

発言者	発言内容
議長	この「宿泊滞在型」という言葉は前からありましたよね。
委員	では今まで実施できていなかっただけですね。
推進室主査	今年は民宿のご主人が日帰りのツアーを組み、希望があれば宿泊も用意するという形で広報してみました。実際に宿泊をされたご家族もいらっしやいました。そのように滞在時間を伸ばす仕掛けもできると思っています。
議長	「ネットワーク」の件で「自然のネットワーク」はいらないということではありません。ここについては決定ではなく、再検討事項ですので、次回、事務局からまた提案があると思います。
委員	「自然、文化、人がそれぞれネットワークしながら地域をつくっていく」というのと、『「自然と文化」、「人のつながり」が関わりあって地域をつくっていく』のでは、後者の方がより具体性が増した感じがありますが、前者は大きな可能性を感じさせます。どちらが良いのか私も悩んでいます。
委員	「ポイント 4」ですが「、」の位置に違和感があります。みなさんはいかがですか。
議長	このくらいの長さの文章であれば「、」はいらないですね。
委員	10 の推進ポイントに「農」という言葉が一言も入っていません。農業は里地里山の中核なので入れてほしいと思います。
議長	ポイント 7 で「里地・里山や山村」を「里地・里山や農山村」に変更することと、説明文の中に農林業の説明も加えるよう検討してください。ポイント 6 でも工夫して盛り込んでください。では 10 のポイントは今あったことを検討し、次回に再度提示してください。7 ページの「推進する地域」については、旧名栗村を含む飯能市域全体ということです。推進協議会からも「名栗」の言葉がなくなってしまったので、この項目で少しでも旧名栗村にふれてほしいというのが私の希望でした。
委員	「推進する区域」は全域で全く問題はないのですが、河川、里地里山、奥山等色々な環境があり、それぞれが連続しているということにふれても良いのではないかなと思いました。
委員	ここでのゾーニングをする、しないということは、次回以降のルール作りに関係してくると思います。ですので、次回以降のルール作りのとこ

会議録 (3)

発言者	発言内容
委員	ろで、山ではこう、川ではこう、といった環境ごとに決める形でなければゾーニングしなくて良いと思います。
議長	飯能は首都圏に近接し、地形を見ても平地、台地、山地があり、これらを舞台にエコツーリズムを推進していくということもふれると良いと思います。資料 4 の 9 ページ以降は各々で次回までに読んでいただき、活発な議論ができるように準備をお願いします。
推進室主査	次回、第 3 回の協議会で、もし時間に余裕があれば資料 3 の「第 4 回協議会 (6) その他エコツーリズムに必要な事項」もご審議いただければと思っております。よろしくお願いいたします。
議長	では議事 (3) その他です。事務局からお願いします。
推進室主査	今年最終回のオープンカレッジを 11 月末から開催します。お知り合い等にお声がけよろしくお願いいたします。また環境省で行っているエコツーリズム大賞というのがあり、飯能市エコツーリズム推進協議会として初めて応募しました。ご承知置きください。
推進室長	次回の飯能市エコツーリズム推進協議会は、11 月 21 日 (金) 14 時から行います。よろしくお願いいたします。
委員	「第 16 回 全国雑木林会議 in 飯能」についてご報告します。参加人数は 3 日間でのべ 989 名でした。過去最高人数の参加者数のようです。今回の会議の特徴はエコツアーをたくさん盛り込んだことです。朝日、読売、毎日新聞にも取り上げてもらい、問い合わせも多く寄せられました。全国に飯能のエコツアーを PR できたと思います。ご協力ありがとうございました。
副会長	長時間に及ぶご審議ありがとうございました。この協議会の強みはメンバーがツアーの実施者であるということです。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。これにて第 2 回 飯能市エコツーリズム推進協議会を閉会します。ありがとうございました。

議事のでん末・概要を記載し、その相違ないことを証明するためここに署名します。

年 月 日

議長の署名